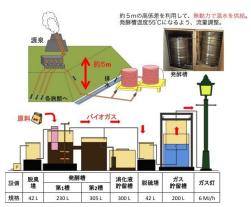


## RFe-1101 観光客参加型食べ残しメタン発酵温泉エネツーリズムの構築のための研究 研究代表者 東北大学大学院農学研究科 多田千佳



### ①温泉熱を利用した小規模メタン発酵





バイオガスで点灯するガス灯

- ・温泉熱によって反応槽55℃維持が可能
- 原料無粉砕でCH<sub>4</sub>転換収率80%以上達成
- ・ガス灯点灯2時間20分以上確実

# ③メタン消化液の効率的な利用。//

	NH4-N	P2O5	K2O
本システムの平均	1.8	0.1	1.5

メタン発酵運転工夫 EC33.5 mS/cm→6.2へ

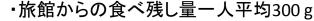
→ 土壌栽培には十分活用可能





コマツナの栽培試験

#### ②エネツーリズムによる地域振興・意識改革



・約半分がご飯 → C/N比20 →メタン発酵に適した原料





・エネツーリズム参加者のアンケート結果より →環境教育効果が高い

→ツーリズムとして可能性示唆







# ④温泉地でエネツーリズムの導入・展開

	エネルギー 消費	温室効果ガス 排出	
	GJ/年	tCO2/年	
初期投資*	1.66	0.331	
運転**	2.24	0.361	
メタン利用	-3.80	-0.188	
消化液利用	-6.59	-0.460	
食べ残し利用	-1.41	-0.643	
温泉執利用	-1290	-87.2	

- 鳴子温泉郷に 温泉メタン69台導入と 従来メタン発酵1台導入 を比較
- →温泉メタンはゴミ1トン あたり処理コスト3万円安

・環境負荷削減効果あり

マイナスエミッション!

温泉地への小規模メタン発酵システムの導入を核とした 低炭素観光(=エネツーリズム)の確立

- ★第四次環境基本計画 「自然共生」「低炭素」「循環」「安全」「環境教育」 「参画・恊働」のキーワードを実行・実現できるツーリズム
  - →政策提言提案 温泉エネツーリズムによる「環境観光立国・日本」